

# 「第64回創造経営研究会講演会」

株式会社 稲田会計事務所

平成25年2月15日(金)に宍粟防災センターにて、第64回創造経営研究会講演会を開催しました。



今回は、スーパー公務員としてメディアなどでも有名な、石川県羽咋市農林水産課課長補佐 高野 誠鮮 氏にお越しいただきました。講演テーマは、「ローマ法王に米を食べさせた男～自立できる地域づくりをめざして～」でした。

ネガティブ思考・事なかれ思考の公務員の中にあつて、常識破りの本質的な発想法と成功するまで続ける行動力で、地元の水のブランド化に成功され、限界集落を救われたお話でした。

その成功を支えたものとは一体何だったのか？そこに経営のヒントが無数に散りばめられていました。

日蓮宗のお寺の住職でもあられる高野氏は、「数千年続く仏教の中に、すべての知恵が集約されている」とおっしゃいました。そして、軽視しがちな“理念”や“哲学”の重要性を、論理的に説明していただきました。

「成功よりも失敗から学ぶことが重要だ。論議を重ねて計画をたてるだけで結局何も行動しなければ、失敗も成功もしない。はじめから何もしていないのと同じだ。」

「やってもいないうちから、失敗したらどうする？」と水を差すネガテ

ィヴな人間は、結局何もできません。」

「失敗したら、失敗から学び、成功し続けるまで行動するのみ。」

「圧力などに屈せず、成功するまで行動し続けるには、“理念”や“哲学”が重要だ。」

など、我々が忘れがちな、成功するための当たり前の行動を、ユーモアたっぷりに、示していただきました。



ポジティブすぎるスーパー公務員の、痛快すぎる発想と行動力に、会場は終始笑い声に包まれていました。

講演後、会場は高揚感に包まれていました。

講師プロフィール

高野 誠鮮(たかの じょうせん)



略歴]

1955年 石川県生まれ

1984年4月 羽咋市市役所臨時職員として勤務、「UFOでまちづくり」を羽咋市で勝手に開始

2002年 米「タイム」紙で活動が特集される

2005年 “神子の里”で「毎日地方自治大賞」特別賞受賞

2008年 地域力創造アドバイザー(総務省)任命

2009年 「全国地産地消推進協議会会長賞」特別賞受賞

2011年 “限界集落からの脱却”で「毎日農業記録賞」毎日新聞北陸総局長賞受賞

【主な役職】

・日蓮宗本證山 妙法寺 第四十一世住職

・金沢大学非常勤講師(平成6年～平成18年)

・現 石川県羽咋市市役所農林水産課課長補佐